

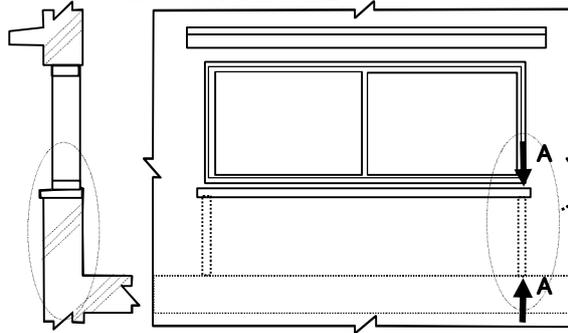
26-3 耐震対策 窓枠部分スリット切込み目地のシール施工

窓枠・ベランダ端部のスリット切込み目地部分のシール

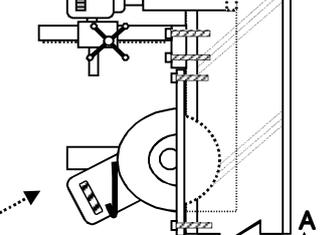
施工手順	施工方法
施工部分の確定	<ul style="list-style-type: none"> ・設計管理者と事前打合わせ及び探査確認で埋設管類、鉄筋の位置を確認して切損事故防止策を講じる。 ・施工場所を確定し、設計図書に準拠し墨出しを行う。
カッター切、端部コア抜き	
目地の研り込み 汚泥除去清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書寸法になる様に目地底入隅部分を研込む。 ・コア抜き及びウォールソー切削時に付着した汚泥スラッジをワイヤーブラシ等で除去清掃する。
目地表面形状の修正	
耐火材の挿入	<ul style="list-style-type: none"> ・スリット切込み目地内へ、設計寸法に切出した耐火材を挿入する。(指定無き場合は、ロックウール)
部分スリット材の挿入	
バックアップ材の装填	<ul style="list-style-type: none"> ・部分スリット材の挿入後シールバックアップ材を装填する。(指定がある場合は指定品を使用)
マスキングテープ養生	
プライマー塗布	<ul style="list-style-type: none"> ・被着体及び、シール材に適合する製品を選定する。 ・目地のシール材接着部分へプライマーを塗布する。 ・塗りムラ、塗り残しが無い様に均一に塗布し、吸込みが著しい場合は、2~3度塗を行う。 ・プライマー(ボンドシールプライマー#9)
シール材の混合	
シーリング材充填	<ul style="list-style-type: none"> ・専用ガンに、混合したシール材を空気が入らない様に吸込み目地底からゆっくりと充填し目地内へ空気溜りが残留しない様に充填する。 ・混合したシール材は、可使時間内に施工する。
ヘラ仕上げ	
マスキングテープ除去清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘラ押さえ後、直ちにマスキングテープを除去する。

完了

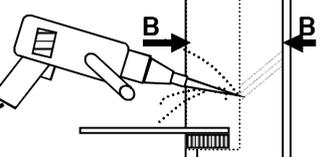
窓枠スリット部分概念図



端部コア抜き



汚泥養生



B-B断面
プライマー塗布



断面修復材成形



耐火材(ロックウール)

部分スリット材(指定品)

バックアップ材

シール基材

硬化剤

カラーマスター

耐火シール

FRシール

プライマー塗布

プライマー#9

シール押さえ

B-B断面

FRシール